

2018年11月30日

味の素グループ、川崎事業所にスープ等の新工場を建設 ～設備投資約200億円、生産性の増強を目指し国内生産体制再編の完遂へ～

味の素株式会社（社長：西井孝明 本社：東京都中央区）は、2017年9月29日付のプレスリリース「味の素グループ、国内調味料・加工食品生産体制を再編」で発表した内容に沿い、川崎事業所（鈴木町）内にスープ等の製造・包装工場を建設することを決定しましたのでお知らせします。

当社は2017-2019中期経営計画において、重点戦略として日本食品バリューチェーンの再編を掲げ、この方針の下、新会社の発足および総額約400億円の設備投資を行い、日本食品生産体制の集約・再編を進めています。現在、当社東海事業所内での調味料等の製造・包装一貫生産を行う新工場建設と同工場への味の素パッケージング株式会社関西工場の機能の集約に着手しており、2018年9月27日付のプレスリリース「味の素グループ、国内調味料・加工食品の製造・包装を担う新会社『味の素食品株式会社』を2019年4月に発足」で発表した内容に沿い、新会社の発足に向けて取り組んでいます。

上記取り組みの一環として、約200億円の設備投資により、当社の川崎事業所内にスープ等の新工場を建設し、クノール食品株式会社の川崎事業所（川崎市高津区）を当初計画通り移管します。これにより、フレキシブルな生産対応力とICT・自動化等先端技術の活用による高い生産性（現行比約2倍）を実現し、お客様の需要に柔軟かつスピーディーに応える世界トップレベルの生産を目指します。

併せて、スープ事業の更なる伸長を目指して増産対応を行います。栄養バランス、プレミアム等多様化する生活者のニーズに対応した製品をお届けすることで、継続的な事業の発展を目指していきます。

これらの集約・再編および並行して進める増産対応により、当初計画通り2022年度以降、年間約70億円のEBITDA改善と対象事業の事業利益率を約2%向上させ、事業構造の強化を図ります。

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”の実現に向け、今後もお客様に安心して召し上がっていただける製品を安定的にお届けできるよう、バリューチェーンの再編を通じて事業の持続成長を支え、生活者の健やかな食生活に貢献し続けます。

なお、本件が当社の2018年度業績に与える影響は軽微です。

<新工場の概要>

- (1) 所在地：神奈川県川崎市川崎区鈴木町1-1
- (2) 建築面積：30,000㎡（鉄骨構造6階建）
- (3) 投資総額：約200億円（建物、製造・包装関連設備等）
- (4) 事業内容：スープ等の製造・包装
- (5) 着工：2018年12月（予定）
- (6) 完工：2021年度上期（予定）

参 考

2017年9月29日付プレスリリース

「味の素グループ、国内調味料・加工食品生産体制を再編」

https://www.ajinomoto.com/jp/presscenter/press/detail/2017_09_29.html

2017年10月20日付プレスリリース

「味の素グループ、調味料等の製造・包装工場を新設」

https://www.ajinomoto.com/jp/presscenter/press/detail/2017_10_20.html

2018年9月27日付プレスリリース

「味の素グループ、国内調味料・加工食品の製造・包装を担う新会社『味の素食品株式会社』を2019年4月に発足」

https://www.ajinomoto.com/jp/presscenter/press/detail/2018_09_27_02.html

